

自然とともに ……水の恵み……



へいまくばら
平作原発電所（岡山県苫田郡鏡野町）

2023.9.15 [金] ~ 9.29 [金]

入場無料

会場

中国電力(株)岡山支社 1階ギャラリースペース
 (岡山市北区内山下一丁目11番1号)

休館日

土・日・祝日

開館時間

9:00~17:00

主催

中国電力 東部水力センター

問合せ先

東部水力センター水力総括課
 (TEL0859-31-3062)



期間中、会場で新成羽川ダムの
 ダムカードを配布予定

【中国電力のダム・水力発電所写真展にあたり】

人は太古より河川をせき止め田畑に水を引いたり、水車のエネルギーを活用して生活に役立て生命を繋いできました。水は地球上の大事な資源です。水力発電は、その水の「循環する姿（降雨～川～海～蒸発～雲～降雨）」の一部を現代では電気という使いやすいエネルギーとして使わせていただいています。人々の体や植物等の大部分を構成する水は自然の大切な恵みです。私たちの生活に必要な水力発電の電気も、水の恵みの産物とも言えます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



近年、カーボンニュートラルやSDGs（持続可能な開発目標）という言葉をよく耳にします。水力発電は、水の循環により何度でも再生する持続可能な純国産エネルギーであるとともに、二酸化炭素（CO2）を殆ど出さないクリーンなエネルギーであり、再生可能エネルギーの本家本元として再認識されています。日本においては約130年前からある発電方式ですが、長きにわたり水の力で電気を生み出し人々の暮らしと共に歩んできました。今では当たり前のように使っている電気ですが、水の恵みに感謝しながら、私達は水力発電を明日へ、未来へ確実に引き継いでいきたいと思っています。

今回の写真展では、東部水力センターエリア（鳥取県、島根県、岡山県と広島県の一部）にあるダム・水力発電所にスポットをあててみました。中国電力の水力発電所は、明治・大正・昭和・平成の各時代に先人達が建設・運転・保守してきました。これらの設備は、各地の自然の中で現在も現役として活躍し電気を生み、電気のある豊かな生活を支えています。撮影は、鳥取県南部町在住の世界的写真家で近年国内外のコンテストで数多くの賞を受賞されている廣池昌弘氏によるものです。ダムや水力発電所が自然の風景の一部として、美しい四季の中で佇む様子をどうぞご覧ください。

ひろいけ まさひろ
撮影：廣池 昌弘 氏



【プロフィール】

鳥取県在住、米子東高校、広島大学工学部卒。システムエンジニア & 写真家
旧通産省認定 特殊情報処理技術者、第一種情報処理技術者
1999年 全国ホームページコンテストで2位を受賞しWEBシステム開発を始める
2005年 写真のスライドショーシステムを開発すると共に写真を本格的に始める

【主な受賞歴】

2015年 オリジナル・オープンフォトコンテスト グランプリ
2015年、2017年 ニッコール・フォトコンテスト 特選
2020年 Sony World Photography Awards Professional "Wildlife" 2nd place
2021年 B&W Minimalist Photography Prize2020 BEST 50 Photographers 他多数



天の川と奥津第二発電所（岡山県）



初夏の新成羽川ダム（岡山県）



秋の来島ダム（島根県）



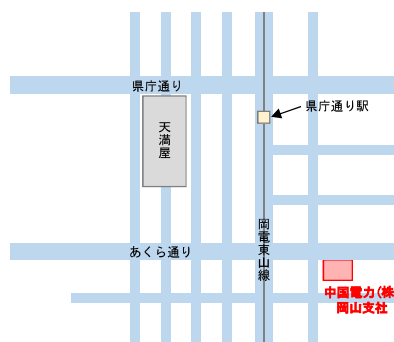
新緑の恩原ダム（岡山県）



冬の俣野川ダム（鳥取県）



紅葉の帝釈川ダム（広島県）



（会場）中国電力（株）岡山支社

【電車】

JR岡山駅より、東山行路面電車で「県庁通り駅」下車、徒歩3分

※公共交通機関での来場にご協力下さい

〒700-8706 岡山市北区内山下一丁目11番1号